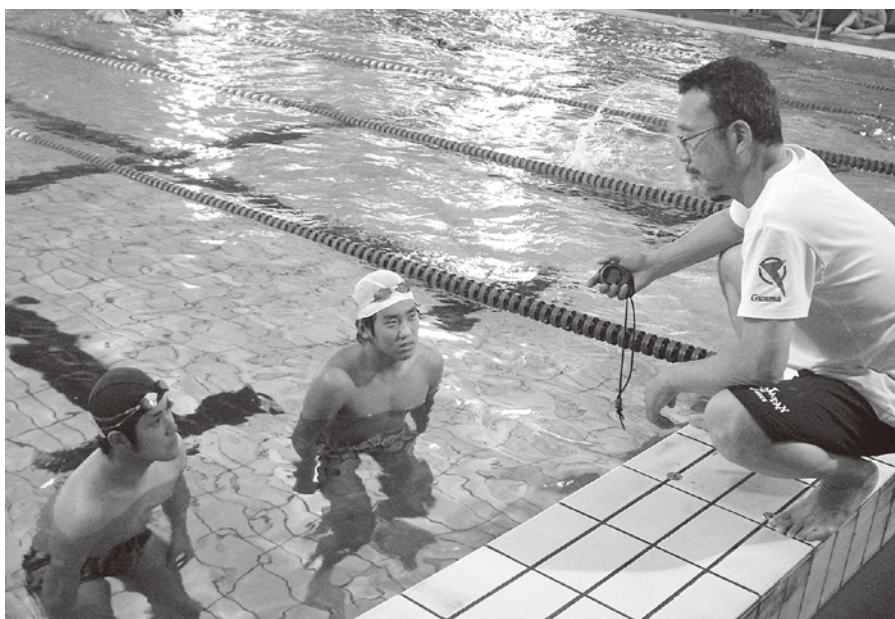




No.28 2009.6.22発行
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>



●群馬スイミングスクールで練習している高々水泳部の現役2名と小茂田猛(水泳部OB 66期)

特別寄稿

内田 翔選手のコーチとして北京オリンピックに参加して

高崎高校水泳部に在籍した関係で、大学卒業後「群馬スイミングスクール」に水泳コーチとして仕事に就いて36年、やっとの思いでオリンピック選手を輩出しました。

内田 翔選手を、群馬スイミングスクールで中学1年から高校3年までの6年間ずっと指導してまいりましたが、その間、内田選手は順調に止まることなく成長してきました。高崎商業高校3年在校時には、みごと世界選手権自由形代表となり、次の北京オリンピック出場を皆に期待されました。そして、内田選手は法政大学入学とともに東京近郊のクラブに移って、北京オリンピックをめざして水泳を続けました。しかし、環境の変化に対応できずにスランプに陥り、2007年の日本選手権では一つも決勝に残れない状態となりました。その後、「群馬でやり直したい」と希望し群馬スイミングスクールに戻ってきました。

戻ってきた内田選手には、基礎的な練習を主体に練習を続けさせました。その結果、2009年3月初めに「どうにかオリンピックを狙えるかな?」というところまで感じられるようになりました。最後の仕上げの1ヶ月に心血を注ぎ込み北京オリンピック選

考会に臨みました。初日の400m自由形決勝は3位、800mリレーメンバー選考を兼ねた200m自由型は、予選で6位、準決勝が終わった時点では5位でした。最後は「開き直ってやるしかない」と伝えて決勝レースに送り出しました。決勝レースは2コースでスタートし、50mで8位、100mは8位で折り返し、150mでは5位に上がりました。そこから、内田選手は爆発的なラストパートを見せて2位に入賞しました。200m自由型上位4人の合計タイムは、楽々と800mリレーの基準タイムを突破し、北京オリンピック代表選手となりました(日本チームとしてオリンピック800mリレーに出場するためには、200m自由型上位4人の合計タイムが基準タイムを上回ることが必要)。

群馬県水泳界としては、史上二人目のオリンピック水泳代表選手となりました。第一号は、1956年にメルボルンオリンピックに同じ800mリレーで選ばれた本校OB(53期)の清水 健選手(当時 立教大学在学)でした。一人目と二人目のオリンピック水泳代表選手の出場種目が、800mリレーというのも何かの縁でしょうし、両方に高崎高校水泳部のOBが関係しているのも何かの縁でしょうか。

2008年の水泳界は、競泳用水着の問題で大騒ぎでした。スピード社の「レーザレーサ」は、確かに圧倒的な世界記録をたくさん出しましたが、誰が着ても記録が出るということではなく、使いこなすだけの力を持ち合わせなければ、良い記録などが出るわけではありません。北京オリンピックでも別の水着を着けて、世界新記録で金メダルを取った選手もいますし、内田 翔選手も別の水着で800mリレー日本チーム7位入賞に貢献しました。これからも水着の改良は進むことと思われませんが、選手自身の技術・泳力の向上が不可欠であることは言うまでもありません。選手が、個々の限界に挑戦する努力に関心を持って見てもらえるように望みます。



小茂田 猛
水泳部(66期)

青春の絆



硬式野球部

KIZUNA

中村 康晴 (73期)

昭和48年春

昭和48年(1973年)5月19日午前9時30分、高校3年生になりたてで背番号1をつけた私は山梨県営球場のマウンドで始球式の開始を待っていた。三塁側甲府商業の応援席は波がうねっているように見えた。たくさんの応援団が肩を組んで応援している。ファーストは高崎2中(現高松中)でバッテリーを組んでいた鈴木一弘、高崎市巾着連の決勝で投げ合った高崎四中(現並榎中)の加藤千景、グラウンドにいる3年生は私を含め3人、あとは2年生と1年生。関東大会に出てくる高校で3年生が3人のチームは高々だけであった。でも、気合いだけは負けなかった。一塁応援席もたくさんの高々生や先生、父兄が甲府まで来てくれた。試合が始まり、1年生の故安藤光俊の犠牲フライで、フォアボールで出た私がホームを踏み1点を取った。結局その1点が決勝点となり、1-0で甲府商業を3安打完封した。

翌日5月20日、いよいよ連投で臨む江川卓(元巨人)の作新学院との対戦だ。あの頃の江川は中学生の頃から有名であり、雑誌などで「怪物」として紹介されていた。栃木県の大会でも完全試合とノーヒットノーランで楽々優勝していた。試合開始前、私達は三塁側選手控室にいた。相向かいに作新学院選手の控室があった。報道陣が一塁側の控室に集中し、高々側には誰も来なかった。みんなで気合いを入れてグラウンドに出た。すごい観客だ。翌日の新聞によると地元甲府商業を卒業して数年前巨人に入団した堀内恒夫氏が投げたときより観客数は多く、入れなかった人も出たようだ。試合が始まり、1回表初球を投げた瞬間、作新学院の小柄な1番バッターにライトオーバーの三塁打を打たれた。江川

一人のチームだと思ったが、バッティングもすごかった。江川との対戦は1回裏三者連続三振。2回裏に5番を打っていた私に回った。4番を打っている鈴木もカーブ見逃して三振。すれ違うとき、「カーブも速えぞ」とのアドバイスをもらった。それまで4人の打者がファールもなく、バットにカスリもしなかった。前日甲府商業との試合が終わった後、甲府一高のグラウンドをお借りし、バッティングマシンを半分の距離にして、バットのグリップが肘に当たるくらい短く持って練習したのに、それ以上江川の球は伸びていた。私は左バッターボックスに立った。1球目ストレートのストライク。確かに速かった。そして伸びがあった。こんなボールは今まで見たことがなかった。2球目、私はかろうじてバットにボールを当てピッチャーゴロとなった。それだけですごい歓声だった。2回目の打席は5回裏に回ってきた。相変わらず高々ナインは三振の山だった。本多饒監督の指示通りバットを半分に握って打席に立った。「今度こそは打ってやる!」・・・バットは江川の投げたボールに当たり、今考えるとゴルフのバックスピンのような打球でセンター前にポトリと落ちた。これでノーヒットノーランは免れたが、試合は0-7で負けてしまった。

私達の高校時代は、1年の時は群馬県夏の大会ベスト4、2年は夏の大会ベスト8、そして3年の春は群馬県で優勝(16年ぶり)し、夏の大会では「甲子園本命」と新聞等で報道されたが、1回戦の利根商戦で8回まで0-0、9回表に高々が2点を取ったが、その裏サヨナラツーランスクイズを含め3点取られ、負けてしまった。その年、甲子園に出場したのは前工であったが、私達を破った利根商は決勝まで進んだ。このことは同級生と酒を飲む度に30年以上過ぎた今でも語り種となっている。

しかし、翌年74期が夏の大会で県代表となり、北関東大会(当時は群馬と栃木で1校が甲子園に出場)に前工と出場した。両校とも栃木県勢を倒し、前工と再度甲子園をかけて対戦したが敗れてしまい、あと一步のところまで甲子園を逃した(この年前工は全国でベスト4であった)。その翌年75期は秋の大会において県で優勝し、関東大会で原辰徳(現巨人監督)がいた東海大相模と対戦し、8回まで5-5と接戦

ではあったが、9回表に4点を取られ、惜しくも敗れてしまった。この時も東海大相模に勝てば、春の甲子園大会に出場できた。

私は今現在53歳だが48歳から3年間、勤務先である高崎商科大学附属高校で硬式野球部の監督に就任させていただいた。女子校から男女共学になり野球部を創設することになったのだ。群馬県高野連への登録、少人数で全く野球をやったことのない部員への指導…。その時に高々の多くの先輩や後輩が、ノックやバッティングピッチャー、様々なポジションの指導等を手伝っていただき、本当にお世話になった。また、夏の大会には応援も必要となるため、高々応援部OBの藤井正弘氏にもお願いし、高校生へ応援の指導もしていただいた。

最後に、当時新婚であったにもかかわらず、家庭を犠牲にして厳しく私達を指導してくださった本多饒監督、娘さんがご病気であったにもかかわらず、毎日必ずグラウンドに顔を出していただいた顧問の故高橋正親先生、部長の故岡田由重先生、元監督の故市川清先生、また、諸先輩方、いろいろご指導していただいたことに対し、心から感謝したい。

KIZUNA

川端 俊介 (81期)

当時は振り返って

卒業後約30年、高々のグラウンドへ足を運ぶ。あの時と同じ野球部の姿に高々野球部の伝統は受け継がれていると感じる。そして、境原先生が監督をしている。同級生が監督として母校に戻ってきた。これほどうれしく思うことはなく、自分も高校時代に戻り野球をしているようである。

入学と同時に、夏まで毎日200球以上投げたバッティング投手、練習の締めくくりのベースランニング、夏休みの個人のノック、どれも辛い練習だった。1年の秋、練習試合でさえ投げる実力はないと思った。しかし、練習試合では数多く投げさせてもらった。結果が出なくても、たくさん経験を積み重ねてもらった。冬に300球の投げ込みを同学年の捕手宮下と数回行った。2年春も続いてチャンスをもたらした。しだいに練習試合で安定した投球ができるようになり、大事な場面で投げさせてもらうこともあった。先

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井章一税理士事務所

高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町1713 TEL 027-346-1463

一級建築士事務所・総合建設業・東京ガス登録店・LPガス保安機関
上下水道指定工事店(高崎・前橋・伊勢崎・藤岡・安中・玉村・吉井)

水まわりのリフォーム・メンテナンス
株式会社 スカワ
SUKAWA 代表取締役 須川 光一 (山岳部79期)
高崎市倉賀野町1717 TEL:027-346-1849

輩バッテリーを目標に捕手宮下と常に試合を想定した練習を重ねた。6月には急激に力が伸び、監督さんからは「他校ならエースナンバーをつけられる」とも言われ、その言葉は大きな自信になった。そうして夏の大会には2番手投手として常にブルペンで投球を続けた。先輩達は強豪校とも互角以上に戦い、甲子園級のチームだった。常に甲子園を目標にした練習が続いた。しかし、惜しくもベスト8で終わった。

秋の新チーム、レギュラーが4人残り、他のベンチ入りしたメンバーも経験は充分だった。夏の大会で厳しさを実感し、試合に臨む準備は皆できていた。自分もバッティング投手で身に付いたコントロール、練習試合経験、捕手宮下との信頼関係など、練習、夏の大会経験を通して大きな力を身に付けていた。

秋の大会に向け、捕手宮下と新たに内角に投げる練習を始めた。ブルペンでも常にヘルメット、プロテクターを身につけた打者を立たせ、来る日も来る日も、内角胸元に投げる練習をした。投球でヘルメットが割れたこともあった。練習試合で、内角球が甘くなり痛打されるとコーチに容赦なく叱責された。そんな積み重ねを通して、内角に勝負球が投げられるようになった。秋の県大会第一シードされたが「先輩たちのベスト8以上は」漠然と考えていた。とにかく先輩たちのチームに先輩たちのバッテリーに追いつきたいという思いで試合に臨んだ。秋の県大会、決勝でさえも、それほど大きい試合だとは感じなかった。チームワークの勝利だった。当時の合い言葉「普段着野球」の勝利だった。そして水戸での関東大会へと向かった。夏の甲子園優勝の横浜、習志野という甲子園常連校と同じ舞台に立つことが信じられなかった。・・・

仲間がいたから、家族の協力があつたから3年間続けられた。部長、監督、コーチ、OB方々の厳しくも優しい指導と励ましの言葉、下級生の協力があつて結果が出た。誰一人欠けても甲子園には至らなかったと思う。高々野球部は今でも私にとって家族そのものである。田端部長、飯野監督、高橋コーチ、OBの方々は親そのものであり、常に心の師、支えである。高校野球を通して感謝の思いしか浮かばない。高校野球、高々野球部に対する思いは尽きない。近

い将来の高々野球部の甲子園出場、そして全国優勝することを願っている。応援して頂き本当にありがとうございました。

KIZUNA 赤澤 正喜 (84期)

昭和57～58年シーズン

「今年のチームは、甲子園を狙うぞ！」この言葉から、そのチームは、スタートを切った。昭和57年夏の日のことである。当時の監督であった飯野先生の言葉であった。当時、私は、1年生で、その言葉を聞いたときに、ブルッとしたのを覚えている。監督が、実際に甲子園を目標にすると言葉に出したことで、部員全員がその目標を明確に意識した瞬間であったと思う。

しかし、その目標が、とてつもなくでかいものであるということ、我々は、間もなく痛感することになる。その後に行われた練習試合において、ほとんどの試合に負けてしまうのである。相手が、県内の強豪校が多かったということ、差し引いて考えても、ひどい状態であった。負け方も、相手チームのワンサイドゲームでの敗戦のほうが多かったのである。春の選抜に出場したときのチームは、この時期の試合は、快進撃を続けたと聞いた。それと比べると対照的なチームになってしまっていたのである。私は当時、これでは、甲子園はおろか、ベスト8すら怪しいと思えるようになっていた。あの時の先輩たちは、どのように考えていたのであろうか。そして、このような状態のまま、秋季大会を迎えることとなるのであった。

ところが、そんなボロボロだったチームが、ある試合を境に、豹変するのである。その試合は、2回戦の伊勢崎東（現県立伊勢崎）戦のことであった。なんと、延長18回を戦い抜き、5-2で勝利したのである。内容的には、決して褒められる内容ではなかったが、この試合を境に、チームは生まれ変わるのである。この試合の後から、我々の中で、あるキーワードが生まれる。「接戦になれば負けない」それを証明するかのようになり、その後は、接戦に次ぐ接戦をものにし、なんと決勝進出を果たすのである。決勝では、高崎商業に敗れはしたが、秋季関東大会出場の切符をこれで、得たのであった。

秋季関東大会の会場は横浜であった。開会式と、高々の一回戦は、あの横浜スタ

ジアムで行われた。さすがに、素晴らしい環境ではあったが、人工芝は、グリーンの綺麗な絨毯のようで、とても野球をするような場所とは思えなかった。春の選抜がかかった大会であったが、残念ながら、一回戦で東海大浦安に、5-1で敗れた。確かに強い相手ではあったが、それほど力の差を感じなかったのも事実であった。甲子園出場の目標は果たせなかったが、ある種の手応えみたいなものを感じた大会でもあったような気がした。

秋に関東大会を経験し、冬の練習を乗り越えた野球部は、春には、なんと、たくましいチームへと変貌していた。練習試合から始まり、春季大会の決勝まで、1敗もすることなく勝ち進むのである。新チームが始まった頃とは、まるで別人のようであった。決勝では、前橋工業に敗れはしたが、2季連続で関東大会の出場権を勝ち取るのであった。

秋の関東大会のときは、なにか不安な気持ちでのぞんだ大会であったが、春の関東大会では、かなりポジティブな気持ちでのぞんだような気がする。結果も、千葉の印旛高校、山梨の東海大甲府、東京の創価高校を破り、決勝進出を果たすのであった。会場も水戸であったのも、なにか運命めいたものを感じたものであった。水戸は、高々が初めて甲子園出場を決めた場所であったからである。甲子園がかかった大会ではなかったが、夏に向けて勢いのつく大会となると思われた。

二つの関東大会を経て、最終目標である夏季大会を迎えた。この頃には、他校も認める優勝候補の一角となっていた。しかし、チームの力が出せないままベスト8で敗れることとなる。このチームをもってしても、甲子園出場という夢は、果たせずに終わったのである。これをもってドラマチックな1年の幕が下りたのであった。

私には、あと1年残されていたが、この年ほど印象に残ったことはなかった。最終目標は、果たせずに終わってしまったが、今でも、あのシーズンを経験できたことは、私の宝物となっている。後輩達にも、あの素晴らしい経験を是非とも経験してもらいたいと思っている。もちろん、我々が、経験したものよりさらに上を目指して、頑張ってもらいたい。

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研屋

専務取締役 清水 正郎 (野球部・75期)
本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

野球部OB **ハワイウォーター**

小林 均 (77期)

有限会社 小金
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

野球部 (OB会長・62期)

代表取締役社長 **川手 義昭**

群馬小型運送株式会社

高崎市飯塚町1068 TEL 027-362-1000

株式会社 エイテック

高崎市中央町811 TEL 027-372-8111

20 事業報告

- 4月15日
● 第1回編集会議
- 5月13日
● 第2回編集会議(対談)
- 5月26日
● 関東大会出場の部へ祝金
- 6月4日
● 第3回編集会議
- 6月17日
● 監査役会
- 6月17日
● 第1回役員会議・理事会議
- 6月26日
● 第33回定期総会・懇親会
- 6月26日
● 翠巒体育第27号発行
- 6月26日
● インターハイ出場の部へ祝金
- 8月12日
● ゴルフ大会役員会議
- 9月7日
● 第18回ゴルフ大会
- 9月12日
● 高校OB対抗ゴルフ大会(出場者慰労)
- 10月27日
● 第2回役員会議
- 11月11日
● 高崎高校マラソン大会 優秀者表彰
- 11月11日
● 陸上部高校駅伝関東大会出場祝金
- 11月29日
● ソフトボール大会、親睦会
- 3月2日
● 高崎高校卒業式
- 3月24日
● 第3回役員会議



● 関東大会出場の部へ祝金贈呈



● 第33回定期総会・懇親会



● 第33回定期総会・懇親会



● 高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



● 陸上部高校駅伝関東大会出場 祝金贈呈



● 卒業式

第33回定期総会・懇親会

水泳部/伊藤 祐司(75期)

わが翠巒体育会の第33回定期総会・懇親会が平成20年6月26日、高崎ビューホテルを会場におこなわれ、役員、各クラブOB、そして、高崎高校から藤倉新一校長はじめ、顧問の先生方をお招きし、約100人が参加しました。

冒頭、あいさつに立った高橋浩生会長は、「現役生がより多く運動部に加わって有意義な青春をおくってくれるように大いにエールを送りたい」と平成20年度の事業の力点を説明、その手はじめとして会報誌『翠巒体育』27号で、特に部員の減少が伝えられるラグビー部と応援団についてOB会長との鼎談を特集記事として組み、増刷して現役生にも配布したことを紹介しました。同号は、総会参加者にも配布され、新機軸のとりくみとして評価されました。

続いて議事に入り、平成19年度の事業報告、会計報告、監査報告、さらに平成20年度の事業案、予算案いずれも満場の拍手で承認されました。

第16回高高同窓会ゴルフコンペ、第107回高中・高高同窓会について、それぞれ紹介され、國峯善次郎顧問のあいさつで総会は閉会となりました。

続いておこなわれた懇親会では、藤倉校長、原浩一郎同窓会長があいさつ。乾杯の後、各部の顧問紹介、総体の結果報告、各部OB会の紹介と記念撮影が、和気あいあいとした雰囲気の中ですすみ、全員の翠巒合唱で中締めとなりました。

第18回ゴルフ大会団体戦優勝

卓球部/橋爪 洋介(85期)

9月7日快晴。前夜のゲリラ豪雨が嘘のような絶好のゴルフ日和でありました。昨年までとは開催コースが異なり、どのような結果が出るかと不安を感じつつも、5年振りに優勝できたことに卓球部一同、喜びを感じております。

体育会のホームページを見ると、各回毎の結果が出ておりますが(因みにH.P.作成は卓球部の堤先輩です)、第12回、第13回大会と2連覇を最後に5年程、優勝から遠のいておりました。

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、趣味のお集まり等に...

創意魚仲

取締役社長 羽鳥 修司(卓球部・63期)
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428
FAX 027-326-7070

株式会社 システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルII 4-B
TEL. 027-327-8451 FAX. 027-327-8480
URL http://www.sysh.jp/

株式会社大陸不動産

代表取締役 山口 正敏
(卓球部・58期)

高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031

今回我が卓球部は57期深澤昇、61期与口健一、松本壮二郎、65期吉田健一、69期長井康博、71期堤康高、85期橋爪洋介の7名で参加をさせていただきました。卓球部は基本的に「ゴルフ好き」が多く、普段より何かにつけては「ゴルフ」という感覚でありまして、卓球とゴルフボールがほぼ同じ色と大きさということも違和感なく、また、「ボールと接触面」、「回転と曲がり」という感性も似通っているなど多くの共通点が関係しているのでは?と勝手に思っています。

今回開催コースの「サンコー72」は全ホール小さめの砲台グリーンであるため、先輩たちの「老練な技」が冴えわたり優勝できた!と再び勝手に決め付けております。ともあれ、かなり久しぶりの優勝にはしゃいでおりますが、今大会は新興勢力のスキー部なども上位に突如登場しておりますので、我が部も第20回記念大会に向けて組織を引き締めて行く所存であります。終わりに開催にご尽力いただきました高橋浩生会長をはじめとする幹事の皆様に心より感謝申し上げます。



●団体優勝の卓球部

●団体戦

順位	運動部名	合計
1	卓球	322
2	野球	328
3	柔道	331
4	スキー	340
5	陸上	342

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	平岩	グロス	HCP	ネット
1	堤 康高(卓)	38	42	80	8.4	71.6
2	村椿孝信(野)	41	44	85	13.2	71.8
3	永尾敏弘(水)	42	47	89	16.8	72.2

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	平岩	グロス
1	小野里篤雄(山岳)	36	37	73
2	橋爪洋介(卓球)	35	40	75
3	吉田和人(サッカー)	36	41	77

●グロス個人戦(シニア)

順位	氏名/運動部名	高崎	平岩	グロス
1	小笠原庸介(柔道)	42	37	79



●第18回翠巒体育会ゴルフ大会(平成20年9月7日:サンコー72C.C.)

第18回ゴルフ大会 個人優勝
卓球部/堤 康高(71期)

第18回翠巒体育会ゴルフ大会で優勝させていただいた卓球部の堤です。

グロスは悪いのに新ペリアでは上位にいるのが私のゴルフの特長でして、それには気をつけていることがあります。

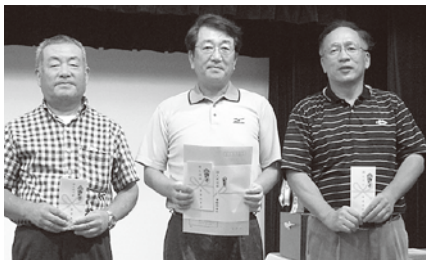
ご承知の方も多いと思いますが、ネットで上位に行くためにP5とP3の8Hだけは、良いスコアになるように頑張ります。

新ペリアでは多くの場合P5とP3は1つづつで残りはP4が隠しホールになります。この場合、仮にP5とP3でパーをとり残りがすべてボギーだったとした場合、グロス82ハンディ9.6でネット72.4になります。逆の場合は、グロス80ハンディ4.8でネット75.2となってしまいます。

スタートラインにこれだけの差があるのでですからそれを利用しましょう。

もう一つ、ハンディ最上位のP4も頑張っています。そこが良いスコアで上がれると、もし隠しホールから外れた場合に他の人と差がつきやすいからです。

能書きを書きましたが、今回はそれが全く実践できなかったので、ツキだけで優勝させていただきました。ありがとうございました。



●左から個人戦2位の村椿さん、1位の堤さん、3位の永尾さん

20年度 翠巒体育会収支計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

科目	金額	摘要
年会費収入	350,000	@25,000×14部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	210,000	@15,000×14部
親睦会収入	235,000	H20. 6.26 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	380,900	H20. 9. 7 サンコー72カントリークラブ
ソフトボール大会収入	83,000	H20.11.29 高崎高校校庭
雑収入	276,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金、会議個人負担
受取利息	1,145	群馬銀行
(当期収入合計)	(1,836,045)	
前期繰越収支差額	844,533	
収入の部合計	2,680,578	
総会・親睦会費	407,795	H20.6.26 高崎ビューホテル
現役補助金	296,000	関東大会、インターハイ等出場の運動部、マラソン大会、OB対抗ゴルフ
会報発行費	441,787	「翠巒体育」第27号
ゴルフコンペ費	308,969	H20. 9. 7 サンコー72カントリークラブ
ソフトボール大会費	101,424	H20.11.29 高崎高校校庭
慶弔見舞金	73,275	
事務用品・通信費	68,628	
会議運営費	315,412	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	1,575	群馬銀行
(当期支出合計)	(2,014,865)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,014,865	
(収支差額)	(△178,280)	(当期収入合計) - (当期支出合計)
次期繰越収支差額	665,713	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 平成21年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
現金	91,247	現金手許有高崎栄町
預金	574,466	群馬銀行高崎栄町(普) #0783238 一般会計分
正味財産	665,713	

特別会計 平成21年3月31日現在

科目	金額	摘要
資産の部		
普通預金	500,680	群馬銀行高崎西(普) #0583363 特別会計分
特別会計財産	500,680	前年度より利息金額680円が増加しております

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願い致します。
群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238
スイラソライクカイ カケイ ヨシシヨウチ
翠巒体育会 会計 吉井章一

カーエレクトロニクス グッズ&サービス
群馬電装株式会社
本部・サービス部:高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
http://www.gunmadenso.co.jp/
代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

高々剣友会
会長 藤木 正行
(剣道部69期)
高崎市南大類町1296
TEL 027-352-0026

(有)カサイ消火器
笠井 秀昭
(剣道部56期)
高崎市江木町67-10
TEL 027-321-8222

ゴルフ大会 職員チーム2回目の参加!
高崎高校 副校長/松原 真介

平成19年度のゴルフ大会には職員チームとして初めて参加させて頂き、翠巒体育会の方々と親しく交流がもて、プレー中での雑談もあり、この上なく楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

今回は、このような思いと同時に、昨年の最下位ということの雪辱を果たしたいという意気込みをもって参加させて頂きました。

今回の大会当日は、天候に恵まれ、まさにゴルフ日よりであり、ゴルフ場から見る山々も非常に美しく、本当に気持ちよくプレーできた一日でありました。

また、前回同様、参加されたチーム数も多く、様々な部があり、色々なお話を伺うことができ、それぞれの高々の部活動の昔の様子等が手に取るように解り、一つ一つが大変勉強になりました。

しかしながら、話を戻すと、この大会のレベルは予想以上に高く、とても雪辱とはいかず、非常に残念な結果となりましたが、職員チームが参加することの意味は、我々職

員が翠巒体育会の皆様と心の底からお付き合いでき、高々をより一層盛り上げることで、「これでよし!」と思っております。終わりに、個人的な話ですが、私も残り1年を残して定年退職になりますので最後になる次回にも是が非でも参加したいと思っております。宜しく願いいたします。

ソフトボール大会&懇親会
バレーボール部/柴山 俊広(103期)

恒例となりましたソフトボール大会が平成20年11月30日に高崎高校野球グラウンドにて行われました。大会当日は天候にも恵まれ、昨年度より若干参加人数は減りましたが、親子で参加する方もおられるなど和やかな雰囲気の中で開催されました。



●ソフトボール大会(高崎高校野球グラウンド)

昨年の夏に日本中が熱狂した北京オリンピックですが、その中でも、ソフトボール女子日本代表の金メダル獲得は、まだ多くの人々の記憶に残っていることと思います。そのような盛り上がりの中で開催された今大会も、北京オリンピックに負けず劣らず、多くの好プレーや珍プレーも見られ、楽しくかつ熱くしまったものになりました。試合では、野球部OBの方々や若手の活躍が多く見られ、世代、部活動の枠を越えての交流をはかることができました。

私自身、このソフトボール大会や夜の懇親会に初めて参加させていただきましたが、先輩方と過去の部活動の話などで、大変盛り上がり、実りあるものになりました。

最後に各部の皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

メディカルチェック
VOL.10

**たかがつき指
されどつき指**

医療法人颯友会
きたがわ整形外科クリニック

TEL.027-372-1313

診療時間
月・火・木・金
<午前>9:00-12:00
<午後>3:00- 7:00
水・土 9:00-13:00
日・祝 休診

院長 **喜多川 利昭**
ラグビー部(86期)

はじめに
今回はなじみのある「つき指」をテーマにしました。

私は高々時代にラグビー部に所属していました。このときの応援旗に「たかがラグビー されどラグビー」というものがありました。懐かしい思いもあり、これを文字って今回は「たかがつき指 されどつき指」というタイトルにさせて頂き

した。深刻な「つき指」も存在することを選手のみならず、指導者、保護者も認識してください。

つき指とは
さてそもそも「つき指」とは広辞苑によると「外力によって指先を突かれたために起こる症状。腫脹、疼痛、運動障害を伴う。」と記載されております。しかし「つき指」といっても程度は様々で①骨折②脱臼③靭帯損傷④腱の断裂⑤とくにおおきな損傷のない挫傷などがあります。私

もこの業界に入るまでは、「つき指」なんかは、引っ張って、冷やして、湿布でも貼っておけば良いと思っておりました。実際にはほとんどの「つき指」は冷やして湿布を貼るだけでも良くなりますが、なかにはたちの悪い「つき指」もあります。いわゆる上記の①②③④がこれに該当します。今回はこのたちの悪い「つき指」についてお話をします。

ちなみに引っ張ることに関してですが、有効な場合と逆効果の場合があります。脱臼は引っ張って治ることが多いですが、

情報システム株式会社
榊原 一好
(バスケット部 79期)
本社 〒370-0032 群馬県高崎市宿大類町1461番地1
TEL.027-350-1277(代) FAX.350-1278

株式会社 塚本工務店
塚本 浩史
(バスケット部 99期)
本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

高崎白衣大観音 高野山別格本山 **慈眼院**
住職 **橋爪 良真**
(バスケット部 75期)
高崎市石原町2710-1 TEL.027-322-2269
http://www.takasakikannon.or.jp/

靭帯や腱が損傷している場合は引っ張ることによりさらにダメージを加えてしまい悪化させてしまうことがあります。この判断はなかなか難しいところです。では①から④について順に説明します。

①骨折



(図1)



(図2)

(図1)のように第1関節(医学用語ではDIP関節という)に骨折を認めます。この外傷は骨性槌指(骨性マレット指)といいます。患者さんは第1関節に痛みと腫れがあり、伸展することができないということで病院を受診します。(図1)は指を押して伸展させていますが骨が離れてしまっているのでこのままでは骨折は治りません。すなわち骨が癒合しません。このため(図2)のようにワイヤーで固定をおこないます。このように手術が必要になる「つき指」が存在します。このような

外傷は時間が経ってから病院を受診し、骨折という事実には驚かれるかたもいらっしゃいます。完治するまでは1から2カ月ほどかかります。ちなみに挿入したワイヤーは後ほど抜去します。



(図3)

またまれではありますが(図3)のように第2関節(医学用語ではPIP関節という)内の骨折もあります。これも手術を必要としますが、(図1)の外傷と比較すると大がかりなものとなります。(図1)(図3)の外傷とも適切な治療を行わなければ、多くの場合後遺症が残ります。

②脱臼



(図4)

(図4)では第2関節(PIP関節)が脱臼しています。となりの指と比較すればわかると思います。これは引っ張って治します。引っ張ることにより脱臼は容易に整復されます。整復されたあと第2関節のぐらつきが強ければ手術をおこなうこともあります。

③靭帯損傷



(図5)



(図6)

(図5)と(図6)を比較してください。(図5)が患側で(図6)は健側です。母指の付け根の関節(医学用語でMP関節)に母指を広げる方向に負荷をかけると患側の(図5)では母指があらぬ方向に曲がっているのがわかると思います。これはMP関節をささえる靭帯が断裂しているためです。スキーでストックをもったまま手をついたりすると母指が広がりすぎてしまい受傷することがあります。この外傷は指に負荷かけた特殊なレントゲンを撮らないとわかりません。通常のレントゲンで骨折は認められないから大丈夫と判断してはいけない外傷の一つです。なおこの外傷では断裂した靭帯が母指を閉じる腱膜の上にくれてしまうためこのままギプスなどで固定されても靭帯は修復されないことがほとんどです。このため基本的には手術で靭帯を修復しなければ治りません。

硬式テニス部OB(84期)

山口正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!
ブルデンシャル生命保険株式会社 町田支社
TEL 042-710-2471 携帯090-9309-9492

硬式テニス部OB(83期)

長谷川酒店

焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。
長谷川 泰三
高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

硬式テニス部OB(91期)

原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば
高崎市倉瀬町川浦3900-156 TEL.027-378-3132
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>

メディカルチェック たかがつき指 されどつき指

④ 腱の損傷



(図7)

(図7)は腱性槌指(腱性マレット指)と
いいます。あまり疼痛は強くはないので
すが、指先を何かにひっかけたら指が伸び
なくなったという訴えで受診することが多
いです。第1関節(DIP関節)を伸展し
ようとしても自分の力では伸展ができません。
押してあげると伸展します。これは矢印
の部位で腱が断裂しているからです。長
期間の固定を必要とするか、手術をおこ
なって治します。こんな外傷でも全治3
カ月を要します。

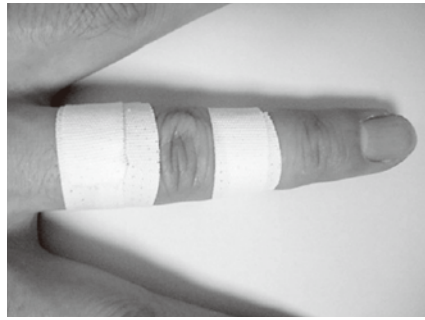
指のテーピング

テーピングは「つき指」を受傷した場
合だけでなく、つき指の予防にもなりま
す。テーピング方法の一例を紹介します。

① 2本の指で巻く方法
(buddy taping)



(図8)



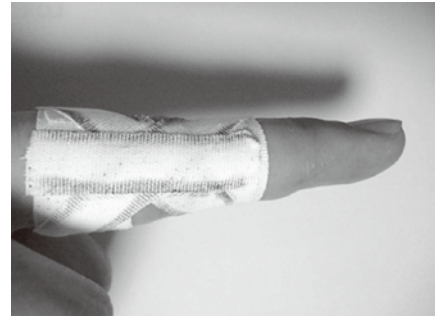
(図9-1)



(図9-2)



(図9-3)



(図9-4)



(図9-5)



(図9-6)

(図8)のように関節をはずして巻きます。
お互いの指が添え木となって固定力が増
えますが使いづらいのが難点です。

② 1本の指で巻く方法

(図9-1~6)のように順序よく巻きます。
まずアンカーを巻きます。(図9-1)
関節を中心に交差するように巻きます。

(図9-2,3)

指の軸方向に巻きます。(図9-4)
同様に反対の部位に巻いてもかまいません。
最後にアンカーで固定します。(図9-5,6)
buddy taping法と比較すると固定力は低
下しますが使いやすいのが利点です。

さいごに

このように「たかがつき指」なのですが
実際には多くの外傷の総称でもあり軽傷
から重傷まで様々です。下肢の障害のよ

うに走れないわけでもなく、たいていは頑
張ればなんとかなってしまいます。このた
めそのままスポーツを継続して悪化させ
てしまうこともあります。また治療を間違え
たり治療開始時期が遅れてしまうと後遺症
が残ってしまうこともあり、本来ならば不
要であった手術が必要になってしまうこと
もあります。あの時検査しておけばよかつ
たということがないように少しでも不安に
思ったら最寄りの整形外科を受診してくだ
さい。多くの整形外科医はスポーツを経
験してきており、スポーツ選手の味方です。
患者さんにとってかけがえのない試合の
前にはドクターストップにしなければなら
ない外傷でも患者さんとの相談の上、可
能な限り試合に復帰ができるようにベスト
を尽くします。医師としてはもちろんのこと、
良き相談相手としても我々整形外科医を
活用していただければ幸いです。

1991
TGS
June

- 各種業務請負●人材派遣
- 軽貨物運送
- ハウスクリーニング

株式会社 東国サービス
高崎市大八木町2119-19 TEL. 027-387-0923
バレーボール部OB 87期 坂本 弘

税理士高橋浩生 バレーボール部OB(78期)
白井浩一 水泳部OB(89期)
高橋浩生税理士事務所
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL 027-363-6303 FAX 027-363-6302
URL http://www.kaikai-home.com/cpta_hiro-hp/

バレーボール部OB(79期)
ケンマ商会
猿谷 稔
〒379-2166 前橋市野中町397-2
TEL・FAX 027-263-1198

OB 各運動部OB会の近況報告



ラグビー部

黒石 康暢
(81期)

ラグビー部OB会は、平成21年1月3日高崎ビューホテルにおいて新年総会および懇親会を開催。昨年度OB会活動および決算報告ならびに今年度事業予定が審議され承認された後、若手OBから大先輩を交えた懇親会で大いに盛り上がった。また、総会に先立ち、豊岡グラウンドでOB紅白戦が行われた。本来であれば現役対OB戦のはずであったが、現役2年生4人・1年生8人の合計12人と15人に満たない陣容のため昨年同様OB紅白戦となった。しかしながら、現役も混ざったゲームは白熱し意気の上がるものであった。3月2日の卒業式では、7名の卒業生に対してラグビー部OB会エンブレムを贈呈し、卒業とOB会への入会を祝った。

3月28日には、第2回高々ラグビー祭を豊岡グラウンドにて実施。現役・若手OB・ベテランOBの順に白熱したゲームを展開。高々ラグビー魂を存分に発揮した。ゲーム終了後は、現役・OB・保護者会・相手チーム合わせて80名以上がバーベキュー、ビンゴゲーム、オークションと大いに盛り上がり、最後にラグビー部部歌を全員で歌いエールで氣勢を上げた。OB会活動については、高崎高校ラグビー部OB会ホームページを参照されたい。

OB会として現役支援を最大の役割と考えているが、近年の悩みは現役部員数の減少である。昨年の本誌『翠巒体育』においてラグビー部にエールを送って頂いたおかげで本年度の現役新入部員13名と例年になく豊作となった。翠巒体育会長はじめ会員の皆様へ感謝すると同時にOB会として高々ラグビー復活のためさらに努力を継続する所存である。



剣道部

小池 政一
(77期)

10年以上にわたり高々剣道部の顧問をしてくださった戸塚泰聖先生(高々77期)が転任となり(富岡高校定時制教頭に)、昨年度6月、若手OBを中心に送別会を開いた。恒例となっている新年会(正月3日)にはあまり顔を見せない若手OBが、たくさん集まり、賑やかに戸塚顧問の門出を祝うことができた。若手同士の親睦を図るよい機会ともなった。

さて、近年、高々の現役生徒は学習に多忙だったり、また県外遠征の機会もあるということもあり、我々の時代5泊～6泊だった春・夏の校内合宿が、1～2泊程度になっている。合宿にはOBが防具を担いでかけつけ、現役と竹刀を交える風景は昔と変わらないが、その機会が減ってしまったため、なかなか現役生徒とOBとの交流が深まらない。若手OBのOB会離れもそのへんに原因があるとも言える。

今年度遅ればせながら、剣道部OB会(高々剣友会)のホームページを開設する予定である。若手OBとの連絡を密に図れるようにし、会の発展に力を入れたい。



柔道部

鳥居 吉二
(73期 顧問)

1月3日には恒例の、新年初稽古が高々柔道場で行われました。遠く金沢や秋田からも稽古に駆けつけて下さったOBもあり、現役選手には良い刺激になりました。

終了後は市内ホテルに於いて新年総会が盛大に行われました。現役選手は夕食をごちそうになってから、それぞれ今年の抱負を語りました。「書き初め」ならぬ「語り初め」として生徒には貴重な体験であると思います。

稽古も、勉強もと、大変厳しい高校生活だと思えますが、諸先輩方の後を追って頑張ってくださいと思います。

柔道部のOBで21年度の群馬県の教員採用試験に2人合格しました。1人は小笠原尚樹君で高校の数学の先生として、もう1人は三輪洋介君で中学の英語の先生として赴任しました。2人とも柔道の顧問希望とのことでした。学校の事情により希望どおりというわけにもいかないでしょうが、今後の教員生活を柔道にもかかわりながら役立って欲しいと期待しています。



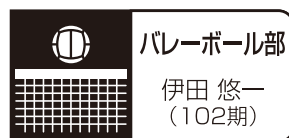
バスケットボール部

橋爪 良真
(75期)

昨年の状況も例年通りで、7月のOB総会、元旦の現役と若手OB交流試合の実施、翠巒体育会行事への参加などでした。但しOB総会は、鈴木武文先輩(51期)の群馬県功労者表彰受賞祝賀会も兼ねて、10年ぶりに観音山慈眼院にて開催いたしました。40期代から90期代までまんべんなく約30人が集まり盛会でした。鈴木先輩には会長が厳選した香炉と高級線香が記念品として贈られました。

今年度は可能ならば、OBの中からスポーツ界をはじめ政財界・学界などで活躍されている方々に現役への講演をしていただき、併せてOBと現役・保護者との交流が図れればと考えております。現役に各界で活躍している大物OBがいることを知ってもらい文武両道の精進の糧としてもらえればと思っています。

今年度は可能ならば、OBの中からスポーツ界をはじめ政財界・学界などで活躍されている方々に現役への講演をしていただき、併せてOBと現役・保護者との交流が図れればと考えております。現役に各界で活躍している大物OBがいることを知ってもらい文武両道の精進の糧としてもらえればと思っています。



バレーボール部

伊田 悠一
(102期)

我々バレーボール部OBは、菊地OB会長を中心に、正月やお盆に開催されるOB会の他にも、「翠巒クラブ」と、高崎高校の応援歌の名がついたチームで週2日程度の練習を行っています。

10回以上の全国大会出場を誇る先輩方のご活躍に負けぬよ

大竹外科胃腸科
院長 大竹 雄二
富岡市田籾947 ☎0274(64)0808

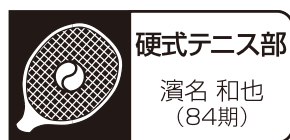
胃腸科・外科・整形外科・泌尿器科
医療法人
山崎 外科 医院
院長 山崎 恒彦
入院・往診応需 藤岡市藤岡2351(ガスタンク前) ☎0274-22-1331

石岡歯科医院
石岡 豪一
〒379-1126 群馬県渋川市赤城町三原田618-30
TEL.0279 (56) 3535

う日々練習を重ねていますが、思うような成績を残すことができていないのが現状です。

それでも、近頃はチームのメンバーも揃い始め、活気ある練習ができるようになってきました。そんな中私が感じるの、高崎高校で共に過ごした仲間達と、社会人となった今もこうして交流できるという、何とも言い難い喜びと心地よさです。今となって、先輩方が築き上げてきた高崎高校という存在が、いかに特別なものであるかを実感させられています。

今後も高崎高校の名に恥じぬよう、少しでも翠鸞体育会の発展に寄与できるよう、継続して活動を行っていきたいと思います。御指導御鞭撻の程、宜しくお願い致します。



硬式テニス部

濱名 和也
(84期)

テニス部員の皆様、こんにちは。高経附で硬式テニス部の顧問をしている濱名です。高々テニス部に追いつけ追い越せて生徒を鍛えているところです。

今年のOB総会は、8月15日(土)の13:00より上並榎テニスコートをお借りしてテニス大会を開催する予定です。現役諸君も是非コートに足を運んでください。もちろん夜の部も開催いたします。詳しくは85期の北村君に任せていますのでそちらまで連絡してください。

最後に高々テニス部の弥栄を祈念いたします。



陸上部

波多野 重雄
(77期)

昨年度は役員改選の年でした。慣例にならない、会長は最低でも2期4年は務めると言うことで、谷会長続投となりました。さて、陸上部OB会では、500名を超えるOB全員(辞退者を除く)にこの翠鸞を同封した総会案内を発送しており毎年多大な通信費を支出しています。各種大会の応援、全国大会参加選手への激励、卒業生への記念品(オリジナルネクタイ)贈呈など、現役部員への援助を主な目的の一つとして行っていますが、近年の現役部員増加(今年度は58名)に伴い、今後の予算不足が懸念されています。役員会でも打開策が検討されましたが、一番はこの翠鸞を読まれたOB各氏が1名でも多く会費を納めてくださることだと思います。また、今年度のOB会総会を7月25日(土)18:30より高崎神社高崎ホワイトインで開催しますので、多くのご参加をお待ちしております。



硬式野球部

吉井 剛
(80期)

平成20年度の硬式野球部OB会は、定期総会をはじめ、保護者会、翠鸞体育総会、選手激励会、夏大会の応援、翠鸞体育ゴルフコンペとソフトボール大会など例年通りの行事を継続しました。今年は、OB諸氏が参加する野球大会等を開催し、現役部員との交流を図っていただくと考えております。

久しぶりのOB監督、境原氏(81期)の就任から3年目となり、選手の中に高々スピリットの復活・浸透を見ることができ、甲子園出場の日も近いと期待を感じさせます。我々OB会としても、川手会長(62期)のもと一致団結し、現役諸君の活躍を応援していきたいと思ひます。OBの皆様には、グラウンドに足をお運びいただき、監督ならびに選手への激励をお願いできればと存じます。



卓球部

橋爪 洋介
(85期)

毎年恒例ではありますが、年始に新年会(現役との交流試合&懇親会)。夏合宿への参加。お若い方たちにしっかり「若いエキス」をいただきながら老体にムチを入れ、現役生を支援しております。世の中に目を向けますと、今年のGWは横浜において「国際卓球連盟2009年世界卓球」が開催され、水谷・岸川ペアが銅メダルに輝きました。水谷選手は世界ランク22位であり、大いに大会を盛り上げていただきました。女子の福原選手をはじめ彼ら若い力が日本の卓球界をメジャーなものにした。そんなイメージを抱きながら打つ「スマッシュ」は大変気分の良いものであります。何歳になっても楽しめるスポーツが卓球であり、県内においては高々OBの諸先輩たちが中心になって大会も開催されております。今年も一年間、顧問の先生とともに(自分たちも楽しみつつ)現役生の活躍を期待しながら、大いに3F精神を発揮して「翠鸞体育」を盛り上げたいです!



応援部

藤井 正弘
(81期)

1月の全体同窓会には、富田君(85期)の尽力で、それ以降の若手OBが例年になく集まっていたいただき、現役さながらの綺麗に揃ったバックで、校歌、応援歌のリーダーを演じることができました。昨年の会報で取り上げて頂いたとおり、ここ数年の応援部は、応援歌「翠鸞」でサブリーダーをつけることができません。今年も3年生が2人と2年生が3人です。5月中旬に、リーダー公開祭の合宿練習を見てきましたが、やっぱりバックが少ないと迫力に欠けてしまいます。十数人の応援部員による、リーダー、サブリーダー、バックの演舞は、全体同窓会でしか披露できません。統率のとれた綺麗なリーダーが演じられるよう、今後もOB会活動への若手OBの参加と活躍に期待します。



サッカー部

根岸 強
(87期)

現役選手の活動を支援するとともに、毎年1月2日には初蹴り会(現役選手対翠鸞クラブ)、8月第2土曜、高々・前高交流戦を行っており、

真木会 真木病院 高崎PET総合画像診断センター
ガンの早期発見のためにペットドックを

高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411

永尾 俊弘(水泳部 70期) 真木 武志(バスケット部 72期)

毎年たくさんの元現役選手が集まり草サッカーを昔のイメージのままプレーし有意義な時間をすごしております。

各年代においては群馬県リーグに参加し活躍しております。群馬県シニアリーグ1部に参加している翠龍クラブ、昨年度成績は4位、今年度はさらに上位を目指しております。群馬県3部リーグに参加の翠巒クラブ、昨年度5位今年度は優勝2部昇格をめざしております。高崎市民トーナメント(ミドル翠巒にて参加)準優勝。

昨年度は現役諸君に胸の張れるような成績を残してはおりませんが、今年度は現役選手が刺激を受けるような成績を残せればと思っております。

そして、高崎高校サッカー部全国大会出場が聞けることをOB全員が願っております。



山岳部

須川 光一
(79期)

去年に引き続き、平成21年5月23日にホテルメトロポリタン高崎にて山岳部OB会を開催しました。顧問であった高橋先生と、50期から83期までのOB39名が参加しました。山岳部OB会は、今まで不定期開催でした。今回、会則及び役員を決め、3年毎に総会を開催することになりました。清水会長(55期)に引き続き会長を受けていただき、新たに副会長、事務局長、会計、監査を決めることが出来ました。今後は、年代毎の幹事を決めていき、多くの年代がたくさん参加してもらえるような組織づくりを進めていきます。

新たな話題としては、伊藤信一さん(78期)が、今年、国語教師として高崎高校へ赴任しました。早速、高校総体へ同行したそうので、現役の活発な活躍状況を聞くことが出来ました。今回は、4位と不本意な成績だったようですが、今後、さらに上位の成績を残せるよう声援を送りたいと思います。

最後に、山岳部もホームページを開設する事となりました。翠巒体育会のホームページのリンクから入れるようにします。些細な情報発信ですが、翠巒体育会ホームページのアクセス数のアップに貢献できればと願っております。



ソフトテニス部

田口 恵一
(74期)

平成20年度のOB会は8月16日に開催しました。現役とOBの親善試合を高々テニスコートにて行いました。今年はベテランの参加

が少なく、74期75期の2名以外若手中心(98期以降)に12名参加しました。若手OBの動きはよく、現役と熱戦を繰り返しました。

夜は長谷川ホテルにて、総会及び懇親会を行いました。51期の柳先輩から103期の若手まで総勢21名の参加となりました。半数以上は若手の参加で昨年より賑やかになりましたが、多忙なためか、30歳から40歳台の参加が少なかったのは残念でした。丸山博会長(68期)の挨拶で始まり、鴻巣先生が復活させた高中(高々)庭球部応援歌を最後に歌い、お開きとなりました。

翠巒体育会ゴルフコンペには、ぎりぎり4名参加し、久々に団体戦が成立し9位に入りました。10年前のゴルフコンペには準優勝したこともありますので、次回にはよりよい成績を残せるよう参加者を増やしていきたいと思っております。



水泳部

伊藤 祐司
(75期)

平成20年度の水泳部OB会の話題は北京オリンピックでした。男子800mリレーで決勝に進出した日本チームの一人、内田翔選手のコーチがわがOB会の小茂田猛氏(66期)です。北京への出発を前にした夏の夜、OB有志がつどい、小茂田氏を囲んでミニ壮行会を開きました。小茂田氏が語る内田選手オリンピック出場までの成長の物語は、胸躍るものでした。内田選手のオリンピックでの活躍を誇らしく感じました。

さて、日本水泳界はこのところ好調のようですが、我が高々水泳部の現状はたいへん深刻です。水泳は、日本のスポーツには珍しく早くからクラブ制度が定着したために、いま、現役の高々水泳部員6人のうち5人がスイミングクラブに所属し、かけ持ち所属ではない高々水泳部員は部長一人とのこと。競技力の向上を考えればいたしかたないのですが、OBとしてはたいへん寂しく、どう援助してゆけばいいのか悩ましい問題であります。

《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます



應援部

橋爪 諒

應援部は我々の代で58代を数え、半世紀以上に渡り「應援する者」として不撓不屈の精神を受け継いで参りました。現在我が部は部員数減少という危機に直面しておりますが、部員達は一騎当千の力量を備えるべく日々鍛錬を積み、應援部員の名に恥じぬよう生活しております。そして学校行事では生徒の中心に立ち、団結を胸にただ一つ母校の栄光の為に勇往邁進しております。万事泡沫の如く姿を消して行くこの時代にこそ、天下に名を馳す高々生は確固たる矜持を抱くべきではないでしょうか。我々は伝統ある高崎高校の学生としての気風、そして誇りを後世に伝えるという信念の下、精進を重ねる所存で御座います。今後とも、より一層の御指導、御鞭撻を賜れますよう御願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。伝統よ更に栄えあれ。



ラグビー部

井口 陽介

高々ラグビー部は、西澤先生・大野先生・新井先生のご指導の下、花園に向けて日々練習に励んでおります。現在部員数が少なく、新人戦では安中総合学園高校との合同チームで出場しました。合同チームの関東大会には、本校から7名が選抜され、3位になりました。

今はできるだけ多くの1年生を入部させ、雰囲気盛り上げながら、日々の練習に力を入れ、チームワークを大切にして頑張ります。

花園予選でも優勝を目指して戦い、最高の結果を残したいと思っております。顧問の先生方、OBの方々への支えに感謝し、期待に応えるべく頑張ります。

「Brand New Start ~新たな前進~」
優勝目指せ!!
 高崎高校サッカー部OB会 会長 清野 哲雄(74期)



バスケットボール部 神戸 祐人

私達バスケットボール部は、3年生11名、2年生15名の計26名に新たに1年生を加え、顧問の長竹先生、坂本先生のご指導の下、インターハイ出場を目標に日々厳しい練習に励んでいます。また、挨拶や返事などの当たり前の事を徹底して行うことで、社会人として生きていくための基本的な礼儀や強い精神力を部活動を通して学んでいます。

他の学校と比べ練習時間も短く、個々の能力も高いとは言えませんが、チームスポーツであるバスケットボールにおいて大切である仲間との団結力は日々の練習でどこにも負けないほどに磨き上げられてきていると思います。今では鍛え上げてきた力を十分に発揮し最後まで粘り抜いてインターハイ出場を成し遂げようと思えます。



バレーボール部 野本 拓実

我々バレーボール部は、顧問の塚本先生、沼野先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。

大会ではなかなか力を発揮できず、目標の県優勝に手が届かず悔しい思いをしています。バレーボールはチームスポーツなので、個々の力があってもチームがひとつになれないと結果に繋がりません。これから行われる総体やインターハイ予選では、チーム一丸となって臨むつもりです。顧問の先生方やOBの方々、そして保護者の皆さんに支えられて伝統ある高々でバレーボールが出来る喜びを噛みしめながら、これからも精進していくつもりですので、応援よろしくをお願いします。



卓球部 町田 優真

私達卓球部は、現在3年生8名、2年生7名の計15名で毎日の練習に取り組んでいます。限られた時間と台をうまく活用し、練習内容を工夫し充実した練習をしています。ここ最近の大会では良い成績は残せていませんがこの練習で確実に力をつけてきていると思っています。自分達より格上の相手にも臆することなく最後まで自分のプレーを貫き、内田先生をはじめ、先生方のご指導の下、これからの大会では一つでも先へ進めるように頑張ります。応援よろしくをお願いします。



剣道部 新井 貴弘

我々剣道部は、顧問の渡辺先生のご指導の下、3年生10名、2年生9名、1年生4名の計23名で日々稽古に取り組んでいます。

一人一人が目標を持ち、限られた練習時間の中で、どうやって相手から一本を取るかを工夫し、切磋琢磨しています。稽古中の雰囲気も真剣で、自分を高めようと励んでいます。そして、今までの稽古で得た自分の力、共に励んできた仲間を信じ、チーム一丸となって試合に臨み、上位入賞を目指します。また、「不撓不屈」の精神で、最後まで諦めず、全力を尽くします。

顧問の先生や保護者の方々をはじめ、多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも精進していきます。応援よろしくをお願いします。



硬式野球部 関 貴臣

我々硬式野球部は、境原先生、島田先生、関根先生、伊藤先生のご指導の下、日々全力で練習に取り組んでいます。強豪私学などに比べ、練習時間や設備は劣りますが、それだからこそ工夫し、よりよい練習を追求しています。また自分達は個の力ではなく、組織として戦っています。そのため人間性にこだわっています。普段の生活をしっかりとすることが一番の練習です。

今年こそは甲子園に行きます。今まで本当に厳しい練習を耐えてきて、何より自分自身に対して自信があります。自分達を指導して下さる先生方、支えてくれる家族、応援してくれる友達やOBの方々へ感謝して、全力で目標に向かって突っ走ってまいります。



サッカー部 高石 佑馬

我々サッカー部は、現在3年生20名、2年生27名の計47名で構成され、日々練習に励んでいます。昨年度は、目標としていた群馬県優勝を果たせず、悔しい思いをしてきました。そこで今年度は、強豪校よりも短くなってしまふ練習を今までよりさらに工夫し、充実したものにしよう群馬県優勝、さらに関東、全国大会出場を目標にチーム一丸となって全力で取り組んでいきたいと思っています。

また、サッカーをする以前の当たり前のこととして挨拶や礼儀をしっかりと、社会に出たときにきちんとした態度を取れるような人間形成を行っています。これからも応援よろしくをお願いします。



陸上競技部 金子 寛

現在、我々陸上競技部は、顧問の田島先生、茂原先生、津久井先生のご指導の下、3年17名、2年18名、1年22名の計57名で構成されています。

陸上競技はほとんどが個人競技なので、各々が自分の競技に対し目標を持ち、その目標を実現させるために、日々の練習を一生懸命取り組んでいます。

これまで行ってきた練習によって身に付いた自分の力を信じ、大事な試合でその力を十二分に発揮できるように、そして、自分達の掲げてきた目標を達成できるように全力で頑張っていきますので、御声援の呈よろしくをお願いします。



柔道部 井上 登志晴

我々柔道部は、3年生2名、2年生4名、これから入部が正式に決まる1年生で日々練習に励んでいます。毎日の練習を効率良く、そして常に自分には何が必要なのかを考え、顧問である鳥居先生のご指導の下で充実した練習をしてきました。柔道は、心技体を必要とし、我々も、体力や技術だけでなく、精神もしっかりと培ってきました。

これから訪れる総体やインターハイ予選では、自分の力を十分に発揮し、関東出場やインターハイ出場を果たし高々の名を全国に轟かせたいと思います。これからも、日々精進して良い結果を報告できるように頑張りたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。

ガンバレ! ソフトテニス部

高崎高校 ソフトテニス部 OB会 会長 丸山 博(68期)

**硬式テニス部**

古林 知哉

私達硬式テニス部は、現在3年生14人、2年生17人、計31名で活動しています。これから新入生がたくさん入ってくると思われます。部員数が他校と比べても多く、コート数が少ないことや、照明設備が不十分である中、限られた時間で、満足のいく練習をすることを心掛け、団体戦県ベスト4を目指して日々練習を励んでいます。昨秋の新人戦では、シングルス2名、ダブルス1ペアしか本戦に行けず、団体戦もベスト16という不本意な結果に終わってしまいました。しかし、今年1月の団体戦形式の強化大会では県6位に入ることができました。次の3年生の最後の大会となる県総体では今まで以上の結果を残し、強い高々テニス部の復活を果たすことを目指すので、これからも応援よろしくをお願いします。

**水泳部**

大河原 琢真

現在、水泳部は3年生2人、2年生2人の計4人で活動しています。このうち、3人はスイミングスクールに通っているため、実質自分一人で部活動を現在行っています。ですが、水泳部に入部してくれそうな1年生が多そうなのでこれからの部活動が楽しみです。自分たちの最大のメリットである「学校にプールがある」ということを生かし、今年度は自己ベストはもちろんのこと、関東大会出場を目指しています。昨年は、関東大会に出場したため、これが一番の目標です。冬期には、主に筋力トレーニングを行い夏に備えて用意をしてきました。部員が少ないため合宿は行えませんが、今年度は個々の能力が高いため期待をしています。応援よろしくをお願いします。

**ソフトテニス部**

大野 俊太郎

我々ソフトテニス部は、3年生3名、2年生9名、1年生15名の計27名で活動しています。顧問の井坂先生の指導の下、全国優勝を目標に日々練習に励んでいます。限られた時間の中、練習を工夫することはもちろん、社会に出ても活躍できる人間になることを目標に人間性を磨いています。コートの中にいるとき、そしてコートの外にいるときにどれだけ勝つ可能性を高められるかをいつも心掛けています。間近に迫っている総体、インターハイ予選に向けて、今まで以上に部員全員が一丸となり、まずは県の代表、そして関東、全国に大きく羽ばたきたいと思います。応援よろしくをお願いします。

**バドミントン部**

黒森 皇太

現在、バドミントン部は、3年7人、2年9人の計16人で活動しています。新たに市川先生を顧問にむかえ、日々、技術の向上を目指し練習に励んでいます。バドミントン部は、創設してから歴史が浅く、まだマイナーなスポーツですが、年々着実に実力を伸ばし、県大会ではシングルス、ダブルスそれぞれベスト8、ベスト16を目標に掲げ取り組んでいます。時間的にも空間的にも制限されている部分が多いですが、工夫を重ね、短い時間を集中して有効に使うことによって、それらをハンドとせず、技術面以外の人間的な成長も心に留め、今後もバドミントン部が大きな躍進を遂げられるように残りの期間を精一杯頑張ります。

**山岳部**

松本 侑馬

私達山岳部は、現在3年生7名、2年生3名の計10名で日々練習に励んでいます。平日はホームである観音山のマラソンコースを走ったり、前橋にあるクライミングジムに行ってロッククライミングの練習。土日には、県内の山を中心に、月1回のペースで登山に行っています。普段はとても楽しんで登山を行っていますが、もちろん総体の準備も怠ってはいません。読図や天気図作成、テント張りの練習も随時行っています。

昨年度の総体では、目標であった関東大会出場できたので、今年度は県大会優勝、全国大会への出場を目指し、部員一同協力して練習に取り組んでいきたいです。応援よろしくをお願いします。

**空手道部**

松本 康平

我々空手道部は、3年生4名、2年生7名の計11名で日々練習に励んでいます。昨年度の県高校総体、インターハイ予選、秋の新人戦では団体戦、個人戦共にベスト8まで進出しました。空手道部は顧問の先生が空手経験者でなく、練習場所も狭く、決して恵まれた環境ではありませんが、部員が互いに教え合い、効率的な練習を集中して取り組んでいて、部全体の士気も高まっています。昨年の高校総体の団体戦では準々決勝で2-3と惜しくも敗れ、関東大会出場をあと一步のところまで逃しました。今年の高校総体では昨年の団体戦のメンバーが3人残っているので全力を尽くし、昨年の悔しさをぶつけてきたいと思います。関東・全国大会出場目指して頑張るので応援よろしくをお願いします。

**弓道部**

松浦 悠司

私達弓道部は主に「中新館」で活動を行っています。昨年度から新しい道場が使えるようになり、部に大きな変化が起きた年でした。最初は新たに必要なものが出てきたり、戸惑うことが多くありました。しかし、今は設備も整いつつあり、新しい道場にも慣れて練習の質も上がってきており、少しずつ良い方向に変化してきていると感じます。時間は限られていますが、その中で少しでも上手くなろうとお互いに教え合い、努力してきたことはそれぞれの中で自信となっているのではないかと思います。今後も先生方の指導の下、関東、更には全国への出場を大きな目標として日々の練習に励んでいきたいと思っています。応援をよろしくをお願いします。

**軟式野球部**

吉田 直弘

我々軟式野球部は、3年生21名、2年生16名で活動しています。今年度は自分自身打ち勝ち、野球を精一杯楽しむという目標を掲げ活動してきました。昨年度より練習試合を増やし、練習方法を見直し効率をあげる等の努力の結果、活気のある中で練習ができ、掲げた目標を達成することができたと感じています。軟式野球部の3年生は春の高校総体で引退します。練習で培ってきた力を存分に発揮し、優勝へ向かって最後まで悔いの残らないよう、相手に、そして自分に打ち勝つために全力で闘い抜いていきたいと思っています。最後に、1・2年生には僕たちのできなかった定期戦での部対抗勝利を成し遂げてもらいたいと思います。応援を宜しくをお願いします。

**目指せ！
極限の自己を！！**

高崎高校 陸上部 OB会 会長 谷 一行(70期)

陸上部OB会ホームページ開設しました。

<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

平成20年度 運動部活動状況

卓球部

高崎市市長杯卓球大会 高校生の部
清水一輝 準優勝
時澤拓也 3位

インターハイ県予選
1回戦 3-0 勢多農
2回戦 1-3 太 工

新人団体県予選
1回戦 3-0 商大附
2回戦 0-3 桐 生

県強化大会
シングルス 清水一輝 ベスト64

バレーボール部

インターハイ県予選
2回戦 2-0 樹 徳
3回戦 2-0 勢多農
4回戦 2-0 前 商
準々決 0-2 伊勢崎 ベスト8

西毛地区大会
2回戦 2-0 藤岡中央
準決勝 2-0 高 工
決 勝 2-0 明和県央 優勝

新人大会
2回戦 2-0 前 南
3回戦 2-0 前 商
準々決 0-2 伊 商 ベスト8

全国選抜県予選
3回戦 1-2 太 田 ベスト16

ソフトテニス部

関東大会
個人 小堺・樋口組 5位
齊藤・佐藤組 2回戦
折田・剣持組 2回戦

インターハイ県予選
個人 小堺・樋口組 優勝
団体 2回戦 3-0 利根商
3回戦 2-0 前 商
4回戦 2-0 青 翠
準決勝 1-2 高 商 3位

インターハイ
個人 小堺・樋口組 (4回戦) ベスト64

1年生大会
有坂・関口組 ベスト16

新人大会
個人 乾・茂木組 ベスト16
団体 2回戦 3-0 藤 工
3回戦 2-1 伊市高
4回戦 0-2 沼 田 ベスト8

全国選抜県予選
団体 1回戦 2-1 中之条
2回戦 2-0 高 商
3回戦 0-2 農 二 ベスト8

ハイスクールジャパンカップ県予選
乾・茂木組 ベスト16

柔道部

関東大会 団体出場 個人出場

インターハイ県予選
団体 ベスト8
個人 81kg級 池田貴紀 優勝
90kg級 井上登志晴 優勝
66kg級 清水克高 3位

インターハイ
個人 81kg級 池田貴紀 1回戦
90kg級 井上登志晴 ベスト16

県新人大会
団体 2回戦 2-② 富 岡

全国高校選手権大会県予選
団体 ベスト8

県学年別大会
個人 三年の部 井上登志晴(無差別)優勝
一年の部 渡辺正樹90kg級 準優勝
小澤航太73kg級 3位

サッカー部

インターハイ県予選
2回戦 9-0 中之条
3回戦 4-0 関 学
4回戦 1-4 高経附 ベスト16

高校選手権 決勝トーナメント
1回戦 4-3 前 橋
2回戦 0-3 高経附 ベスト8

県新人戦
1回戦 8-0 市前橋
2回戦 5-0 沼 田
3回戦 2-1 前 東
準々決 1-3 常 磐 ベスト8

Gunma ユースリーグ1部
第1節 3-2 桐 生
第2節 3-2 伊 商
第3節 1-2 共 愛
第4節 4-1 西邑楽
第5節 0-3 前 商
順位決定 2-1 常 磐 県5位

水泳部

関東高校県予選 男子8位
400m自 柳 義裕 4位◎
1500m自 柳 義裕 3位◎
200m背 小林郁也 7位
100mバ 塚越祐太 8位
400m R 柳・塚越・小林・高橋 8位◎
400mメ R 柳・塚越・小林・高橋 6位◎
(◎印は関東大会出場)

県総体
400m自 柳 義裕 4位

新人大会
50m自 高橋直樹 4位

ラグビー部

第63回国民体育大会 関東ブロック予選
1回戦 群馬県 24-19 神奈川県
代表決定戦 群馬県 12-6 茨城県
※佐藤聡太・加藤耀穂(3年)が群馬選抜選手として出場

第63回国民体育大会 本戦
1回戦 群馬県 5-49 青森県
一年生大会 合同チームの部
(高崎、安中、富岡、渋工、渋川の合同チーム)
41-0 (伊勢崎興陽・関学・高工)
14-17 (桐工・桐生・前東・伊勢崎) 2位

高校選手権大会
1回戦 29-0 桐 一
2回戦 26-5 太 田
準々決 5-71 明和県央 ベスト8

新人大会
(高崎、安中総合の合同チーム)
1回戦 41-19 (伊勢崎・関学・富岡)
2回戦 26-5 (前工・前東)
準々決 0-40 桐生 ベスト8

7人制大会
2回戦 24-5 桐 一
準々決 17-22 前 東 ベスト8

剣道部

全国高校総体県予選
1回戦 0-4 育 英

学校対抗大会
1回戦 2-0 前 西
2回戦 0-1 太 商

新人大会
2回戦 不戦勝
3回戦 0-3 太 商

テニス部

インターハイ県予選
団体 1回戦 0-3 太 田

新人来会
団体 2回戦 5-0 健大高
3回戦 0-5 太 田 ベスト16

硬式野球部

第90回 全国高等学校野球選手権 記念群馬大会
2回戦 7-3 婦 恋
3回戦 3-4 桐 一

秋季関東大会 県予選
2回戦 11-7 清 明
3回戦 0-1 利根商

空手道部

インターハイ県予選
個人形 小池 樹 ブロック3位
個人組手 田中、小池、松本 2回戦敗退
団体組手 (松本、田中、高瀬、三浦、小池)
3回戦 1-4 高経附 ベスト8

1・2年生大会
個人形 小池 樹 7位
松本康平 12位
個人組手 小池 樹 3回戦 負

新人大会
個人形 松本康平 本戦1回戦敗退
ベスト16

がんばれ 高崎高校柔道部

目指せ日本一 祝H21関東大会 出場

柔道部OB会 会長 関口 茂樹(63期)

小池 樹 本戦2回戦敗退
ベスト8
個人組手 田中郁也 ベスト8
牧 凌平 4回戦 負
団体組手 3回戦 1-4 前 工
ベスト8
団体形 (松本、松脇、田中)
3回戦 2-3 高 工
ベスト8

バドミントン部

インターハイ県予選
1回戦 1-3 渋 川
県高校生大会
シングルス 田中 3位
黒森、小暮、野崎、ベスト32
新人戦
団体 2回戦 0-3 太 田

弓道部

西毛地区大会
団体 福田、松浦、戸塚 3位
個人 松浦悠司 4位

軟式野球部

全国高校軟式野球大会予選
1回戦 1-2 前 工
新人大会
1回戦 0-2 育 英

陸上競技部

関東高校大会(東京)
100m 小林 幹 準組7位
5000m 関口頌悟 決勝17位
3000mSC 関 祐輔 決勝9位
ハンマー投 鈴木良太 決勝16位
やり投 黒澤太郎 決勝1位
群馬県選手権大会兼国体予選
10000m 和田尉吹 5位
3000mSC 関 祐輔 決勝4位
3000mSC 根岸侑希 決勝5位
(上記選手が関東選手権大会出場)
全国高校総体(熊谷)
やり投 黒澤太郎 決勝11位
国民体育大会(大分)
やり投 黒澤太郎 決勝8位
県高校新人大会
800m 古市真也 決勝2位
5000m 関口頌悟 決勝3位
3000mSC 根岸侑希 決勝2位
走高跳 大澤佑太 決勝7位
三段跳 梅木悠輔 決勝1位
やり投 金子 寛 決勝3位
(上記選手が関東選抜新人陸上選手権大会出場)
県高校駅伝 総合成績6位
(9年連続関東高校駅伝出場権獲得)
関東高校駅伝(山梨) 総合成績45位
新人駅伝競走大会 総合成績4位

バスケットボール部

全国高等学校選抜優勝大会群馬県予選会
4回戦 104-74 前 西
準々決 85-58 太 田
準決勝 64-82 高 商 3位
西毛地区新人大会
3回戦 107-56 中央中等
準決勝 103-47 農 二
決 勝 90-95 高 商 2位
新人大会兼関東新人大会群馬県予選
3回戦 80-61 渋 川
4回戦 99-86 前 東
準々決 76-83 桐 一 5位

第44回高校総体成績一覧(平成21年) 総合順位 5位

陸上競技部

800m 古市真也 決勝3位
5000m 関口頌悟 決勝6位
110mH 久留飛遊寿 決勝1位
3000mSC 根岸侑希 決勝5位
5000mW 大小原俊 決勝3位
やり投 金子 寛 決勝4位
4×100mR 瀬下、久留飛、馬場、田代 決勝6位
4×400mR 馬場、田代、長壁、古市 決勝5位
(上記延べ8種目が関東大会に出場)
総合7位

バスケットボール部

1回戦 148-11 下仁田
2回戦 102-38 太 工
3回戦 92-59 前 東
準々決 85-88 太 田 5位

卓球部

団体 1回戦 0-3 高 東

バレーボール部

2回戦 2-0 前 南
3回戦 2-0 館 林
4回戦 2-1 明和県央
準々決 0-2 桐 商 ベスト8

ソフトテニス部

団体 2回戦 2-1 吉 井
3回戦 2-0 館 林
4回戦 2-1 健大高
決勝リーグ 0-3 前 商
0-3 沼 田
0-3 農 二 4位
個人 有坂・高橋組 3位(関東大会へ)

山岳部

4位(関東大会へ)

サッカー部

2回戦 9-1 青 翠
3回戦 3-0 伊 工
4回戦 2-1 新 島
準々決 2-3 高経附 ベスト8

ラグビー部

1回戦 103-5 桐 工
準々決 5-76 農 二 ベスト8

剣道部

1回戦 4-0 利根実
2回戦 1-1 清 明 (本数勝)
3回戦 4-1 前 西
4回戦 0-4 太 商 ベスト8

テニス部

団体 1回戦 2-1 藤 北
2回戦 1-2 伊 商

硬式野球部

春季関東大会県予選
1回戦 9-2 高 専
2回戦 5-1 高経附
3回戦 8-3 藤 北
4回戦 2-1 太市商
準々決 1-8 高 商 ベスト8

空手道部

個人形 小池 樹 ベスト8
団体形 3回戦(0-7高経附) ベスト8
個人組手 田中郁也(5回戦敗退) ベスト8
小池 樹(4回戦敗退)
松本康平(3回戦敗退)
牧 凌平(3回戦敗退)
団体組手 3回戦(1-4商大附) ベスト8
男子総合5位

バドミントン部

個人 シングルス
永野 ベスト32
田中 ベスト64
ダブルス
黒森・小暮組 ベスト64
団体 2回戦 0-2 前 東

軟式野球部

4回戦 11-6 前 南
準々決 4-5 高 商 ベスト8

柔道部

団体 1回戦 3-1 渋 工
2回戦 0-3 前 商
個人 井上登志晴 準優勝(関東大会へ)

秋山土地開発株式会社
代表取締役 秋山 賢治
(応援部OB会 会長 74期)
藤岡市中大塚223番地1 TEL.0274 (24) 3911

「自分らしい、いい就職」を「ふるさとで働く」を応援します
就活応援団
ぐんま・とちぎ
TEL 027・310・2080 (81期・応援・藤井)

RISE® ライズ総合保険
損害保険・生命保険はお任せ下さい!
富田 和弘
(応援部 85期)
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364

翠巒体育会役員名簿

(平成 21. 6. 22)

役職	氏名	期	運動部名	電話
会長	高橋 浩生	78	バレーボール	
副会長	藤木 正行	69	剣道	
〃	志田 登	82	柔道	
〃	谷 一行	70	陸上	
〃	内田 美樹	77	ラグビー	
〃	田口 恵一	74	ソフトテニス	
〃	秋山 賢治	74	応援	
〃	清野 哲雄	74	サッカー	
〃	清水 正郎	75	野球	
〃	北村 真行	85	硬式テニス	
〃	松本 基志	77	山岳	
〃(情報部長)	堤 康高	71	卓球	
〃(編集局長)	橋爪 良真	75	バスケット	
〃(会計)	永尾 俊弘	70	水泳	
監査	吉井 章一	78	山岳	
〃	川手 義昭	62	野球	
〃	後藤 次一	68	陸上	
〃	阿久澤 茂	69	サッカー	
顧問	國峯 善次郎	50	サッカー	
〃	岩田 武雄	53	バスケット	
〃	山口 正敏	58	卓球	
事務局 局長	鳥居 吉二	73	柔道	
事務局(理事)	岩丸 高明	82	バレーボール	
〃(理事)	富田 和弘	85	応援	
事務局 理事	茂原 賢三	89	陸上	
〃	坂本 弘	87	バレーボール	
〃	長谷川 裕二	93	〃	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	浦野 英孝	77	〃	
〃	滝野 修司	86	〃	
〃	関口 茂樹	63	柔道	
〃	庭田 登志男	68	〃	
〃	寺沢 保夫	83	〃	
〃	坂本 正樹	71	陸上	
〃	木村 隆一	74	〃	
〃	福島 早人	77	ラグビー	
〃	飯島 雅年	78	〃	
〃	黒石 康暢	81	〃	
〃	新谷 恭一	54	水泳	
〃	斎藤 全賢	75	〃	
〃	白井 浩	89	〃	
〃	深沢 昇	57	卓球	
〃	角倉 信久	69	〃	
〃	橋爪 洋之	85	〃	
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス	
〃	石田 和久	75	〃	
〃	浦野 克彦	78	〃	
〃	鈴木 伸生	80	応援	
〃	藤井 正弘	81	〃	
〃	國峯 賢一	74	サッカー	
〃	安藤 英彦	86	〃	
〃	根岸 均	87	〃	
〃	小林 均	77	野球	
〃	赤沢 正喜	84	〃	
〃	清水 威	85	〃	
〃	榊原 一好	79	バスケット	
〃	佐藤 弘	81	〃	
〃	斎藤 英敏	83	硬式テニス	
〃	長谷川 泰三	83	〃	
〃	松本 潔志	84	〃	
〃	長井 友之	74	山岳	
〃	吉井 章一	78	〃	
編集委員	内田 祐二	87	バレーボール	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	鳥居 吉二	73	柔道	
〃	波多野 重雄	77	陸上	
〃	川崎 洋一	79	ラグビー	
〃	伊藤 祐司	75	水泳	
〃	堤 康高	71	卓球	

役職	氏名	期	運動部名	電話
編集委員	木村 晴彦	87	ソフトテニス	
〃	藤井 正弘	81	応援	
〃	根岸 強	87	サッカー	
〃	吉井 剛	80	野球	
〃	橋爪 良真	75	バスケット	
〃	浜名 和也	84	硬式テニス	
〃	吉井 章一	78	山岳	

		学校側顧問	
校長	藤倉 新一		
副校長	松原 真介		
教頭	増田 芳之		
運動部長	長竹 潤		
バレーボール	塚本 泰弘	沼野 隆	
剣道	渡辺 正一	萩原 弘和	
柔道	鳥居 吉二	木村 高己	
陸上	田島 正徳	茂原 賢三	津久井 俊明
ラグビー	西澤 南	大野 俊彦	新井 功
水泳	前田 敏明	萩原 克明	坂爪 誠
卓球	内田 均	江原 悠一	小林 正好
ソフトテニス	井坂 奨	澤田 徳彦	川崎 洋一
応援	川崎 洋一	茂原 賢三	
サッカー	笠原 恵太	新井 悟	曾根 秀朗
野球	境原 尚樹	關根 秀仁	島田 学
バスケット	長竹 潤	坂本 直之	
硬式テニス	岡田 準	中村 健一	
山岳	手島 直樹	津久井 俊明	
スキー・スケート	關根 秀仁	手島 直樹	
弓道	間々田 功	前田 敏明	池永 真孝
空手道	矢島 宏三	斎藤 利男	
軟式野球	篠原 浩一	田島 悦男	關根 正弘
バドミントン	市川 高幸	澁谷 正章	宮崎 秀明

OB会長名簿

運動部名	氏名	期	電話
バレーボール	菊地 俊二	52	
剣道	藤木 正行	69	
柔道	関口 茂樹	63	
陸上	谷 一行	70	
ラグビー	内田 美樹	77	
水泳	永尾 俊弘	70	
卓球	橋爪 洋介	85	
ソフトテニス	丸山 博	68	
応援	秋山 賢治	74	
サッカー	清野 哲雄	74	
野球	川手 義昭	62	
バスケット	橋爪 良真	75	
硬式テニス	小池 俊明	80	
山岳	清水 正爾	55	

第28号翠巒体育会会報 第2回編集会議(平成21年6月3日・高崎ビューホテル)



編集後記 [吉井・山岳・78期] 早いもので、翠巒体育会の編集委員になって5年が経過しております。当然のことなのですが「翠巒体育」が関係者以外の方から話題にされることはほとんどありませんでした。しかしながら、前回の「がんばれラグビー部、応援部」の特集は例外でした。現役生徒にも配布したのが功を奏したのか、外部の方から反響があったのです。具体的にはラグビー部員の保護者の方から、この特集に対して本当に良かったと感謝の言葉をいただいたのです。部員の減少は本人たちだけでなく保護者をも巻き込んで部の将来を左右する問題となっているようです。実のところ、この会報誌がどの程度読まれているのか、いささか不安感を抱いておりますので本当に驚いた次第です。これからも、多くの皆様に親しまれるような会報誌でありたいと気持ちを新たにしました出来事でした。